

淡路島総合観光戦略の策定について

1 目的

淡路島の地域経済を牽引する観光産業の更なる発展と、観光振興を通じて地域住民の豊かな暮らしが将来にわたって持続できる元気な淡路島の実現を図るため、今後5年間の淡路島への誘客を促進するための戦略として、新たな淡路島総合観光戦略（以下「観光戦略」という。）を策定する。

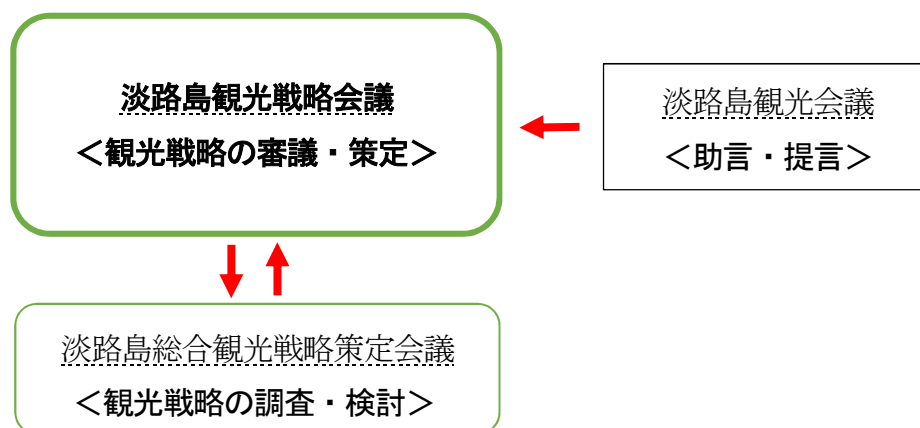
2 策定主体

淡路島観光戦略会議（以下「戦略会議」という。）

3 策定の方法

- (1) 戦略会議は、観光戦略を策定するにあたり、調査・検討を行うため、淡路島総合観光戦略策定会議（以下「策定会議」という。）を置く。
- (2) 策定会議は、観光・交通・旅行・商工・食・地域振興・マスコミの関係者、学識者、関係行政機関等の職員等で構成する。
- (3) 戦略会議は、淡路島観光会議（以下「観光会議」という。）などの意見を聴いたうえで、観光戦略を策定する。

【観光戦略の策定手順】



<参考>

- 観光会議（淡路県民局長、3市長、観光協会役員、くにうみ協会理事長、関経連会長、元京都府知事 計10人）
 - ・ 2025年大阪・関西万博の開催等を見据えた淡路島の観光振興等に対する提言

4 策定内容

- (1) 淡路島観光の現状と課題の再認識（これまでの成果、島外資本開発、他地域との比較・分析を踏まえる。）
- (2) 目指すべき姿・方向・目標（目標を明確にして）
- (3) 取り組むべき方策の視点・方向性（明確かつ具体的に）
- (4) 観光戦略（具体的な戦略や取組例など）

5 策定期間

令和5年3月

6 策定スケジュール（予定）

- 5月 3市等関係者説明会
- 6月 3市等意見交換
- 6月29日 第1回 淡路島観光戦略会議
- 8月12日 第1回 淡路島総合観光戦略策定会議
- 9月15日 第2回 淡路島総合観光戦略策定会議（素案作成）
- 10月 第2回 淡路島観光戦略会議
観光会議
- 11月 第3回 淡路島総合観光戦略策定会議（修正案作成）
- 12月 第3回 淡路島観光戦略会議
- 1月 第4回 淡路島総合観光戦略策定会議（最終案作成）
- 2月 第4回 淡路島観光戦略会議
- 3月 次期観光戦略策定